

共生の芽吹き

林業との繋がりをつくる場所



建物外観



屋上デッキ



ギャラリー

工房

設計主旨

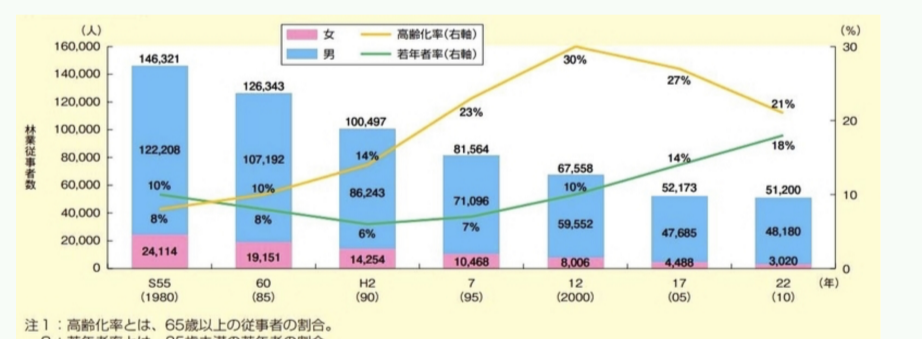
現在、秋田県に限らず林業全体では木材価格の下落による**所有者の経営意欲低下**による**就業者の減少**、林業の**高齢化**による**行き届かない管理**などの課題が挙げられる。これらの課題を、市民をはじめとした様々な人が林業に関わることで解決できるようなシステムを、建築を通して提案しようと思う。

林業との関わりをつくる

林業就業者が減少している要因に、若者が林業がどのようなものであるかを理解できていないということがひとつ挙げられると考えられる。

しかしそんな中でも、林業に関わるきっかけが増えたためか、就業者の若年層(35歳以下)は6%(1990年)から18%(2010年)と上がっている。

まだまだ就業者は少ないが、どれも林業との関わりが作り出されたことがきっかけとなっていると思われる。このような場所が増えれば、就業者が増えるのではないのか。



森林・林業台書より 林業従事者の高齢化率・若年者の推移

木材の有効活用

管理のために伐採された木材が行き場を失っていることも、林業の課題として存在している。このような木材が、市民が林業に関わるきっかけのひとつになるようなシステムを作り出すことができれば、林業に興味を持つ人も増えるのではないのか。

敷地計画

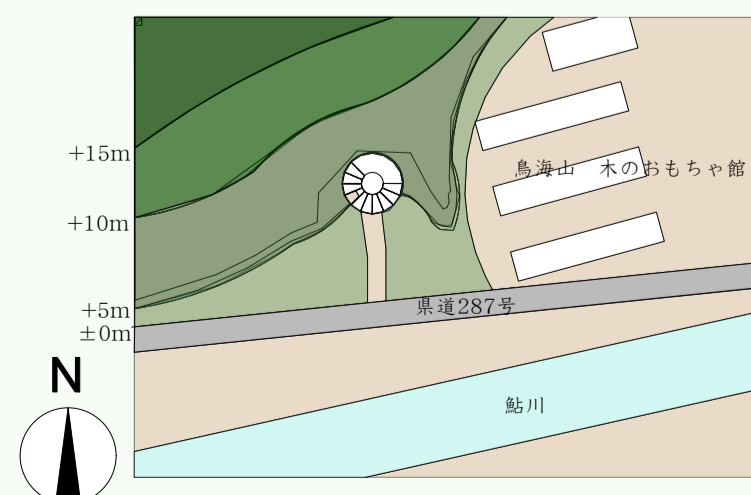
秋田県由利本荘市にある「鳥海山 木のおもちゃ館」に隣接するように敷地を計画する。

この場所は住宅が少ないが、森林や河川に囲まれており、自然を感じながら活動を行うことができる。また、由利本荘市の人が集まる拠点の一つに隣接することで市民もイベントなどに参加しやすく、おもちゃ館の展示品に関わった活動も行いやすくなる。

由利本荘市は秋田県の中でも、民有林では私有林を併せて最も面積が大きい地域となっている。

つまり、森林を所持しているのは個人や法人、市町村が多い地域であるので、イベント開催やボランティア活動がより行いやすくなるのではないかと考えられる。

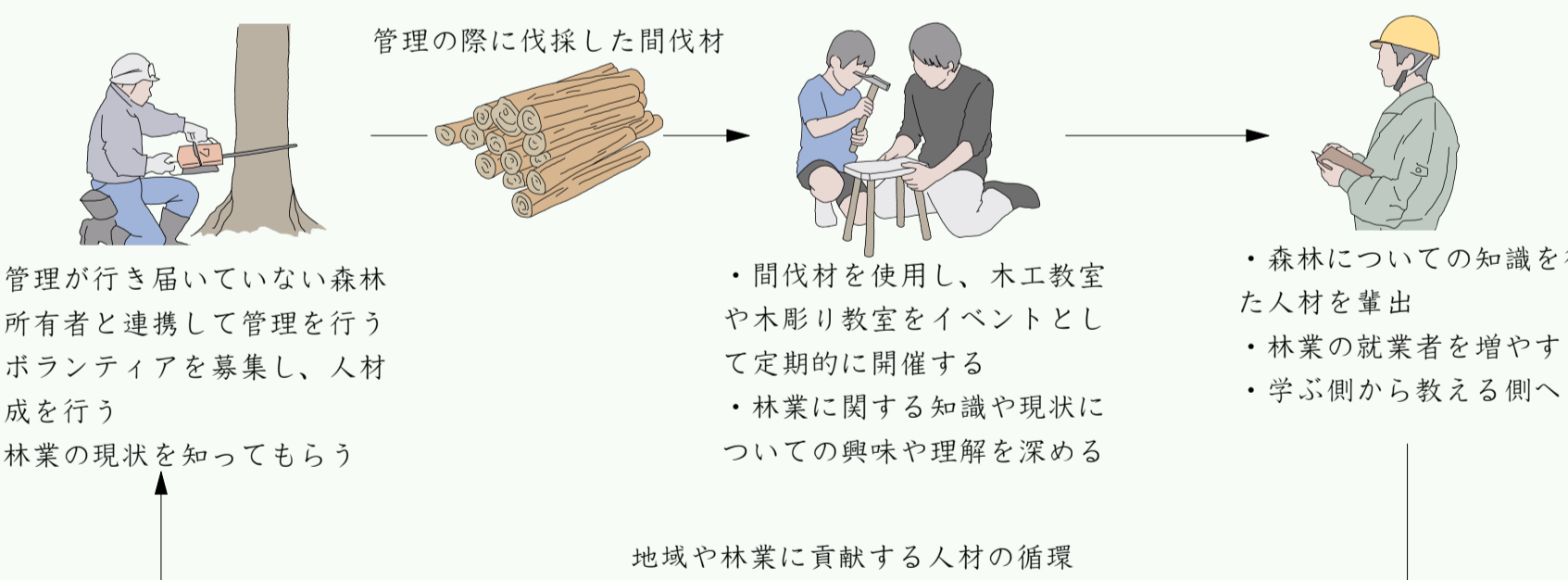
北西側は山に囲まれており、南東側に開けているため、鳥海山を望むことも可能である。



敷地周辺図 1:3000

仕組み

普段は市民が気軽に出入りして工房やギャラリーを使用することができる。定期的に**森林の管理のためのイベント**や、管理のために伐採された**間伐材**を利用した**木工教室**などを開催し、林業の現状についての学びを深めながら、実際に林業に関わることでできる場所とする。また、森林の管理のためのイベントには林業従事者と共に活動する**ボランティア**も募集し、林業に関する知識を深め、最終的には就業へとつながる人材育成も同時に行う。



- 管理が行き届いていない森林の所有者と連携して管理を行う
- ボランティアを募集し、人材育成を行う
- 林業の現状を知ってもらう

- 間伐材を使用し、木工教室や木彫り教室をイベントとして定期的で開催する
- 林業に関する知識や現状についての興味や理解を深める

- 森林についての知識を得た人材の輩出
- 林業の就業者を増やす
- 学ぶ側から教える側へ

建築への木材の有効利用

部材の木材

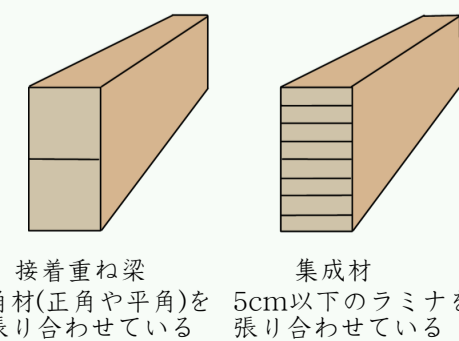
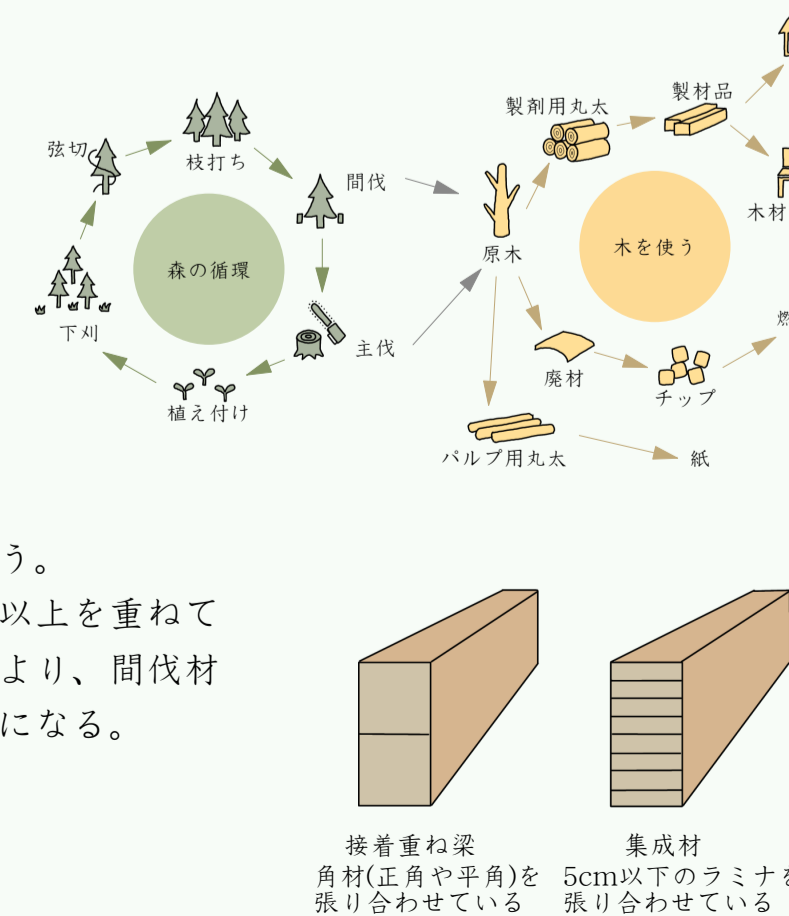
地産地消を推進するために柱には秋田県産の杉を扱う。地産地消を行うことで、地域経済が活性化する。また、木材として利用する際には十分に育った伐り時の木を伐採しそこにまた新たに木を植えることで、森林が更新される。木を植え、育て、伐採するというサイクルを循環させて、森林を健康に持続させることにもつながる。

梁部材について

間伐材の有効利用を行うために梁部材は接着重ね梁を扱う。接着重ね梁は、中目木から伐採された小さな角材を2本以上を重ねて貼り合わせて大きな梁材をつくらることができる。これにより、間伐材からの製造が可能になるため、間伐材の有効活用が可能になる。

長所として

- 間伐材から断面の大きな構造材ができる
- 木の美しさや無垢材に近い質感が味わえる
- 集成材に比べ、接着剤の使用量が少ないことが挙げられる。



平面・断面計画

建築概要

所在地：秋田県由利本荘市
 階数：地下1階、地上2階建て
 構造：地上 木造
 地下 鉄筋コンクリート造

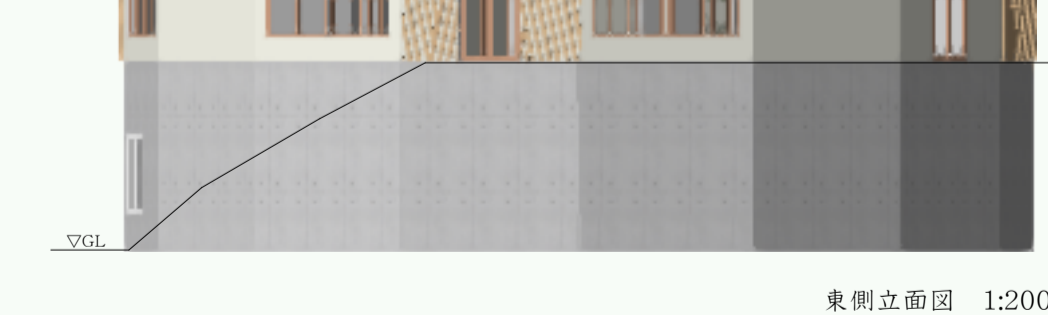
主用途：木材工房・学習施設
 延床面積：1007.6㎡
 最高高さ：11203mm

地下1階部分は一部が外に面しており、正面から入る際の入り口は地下1階となっている。大きな部材の加工場として機械を設置可能。

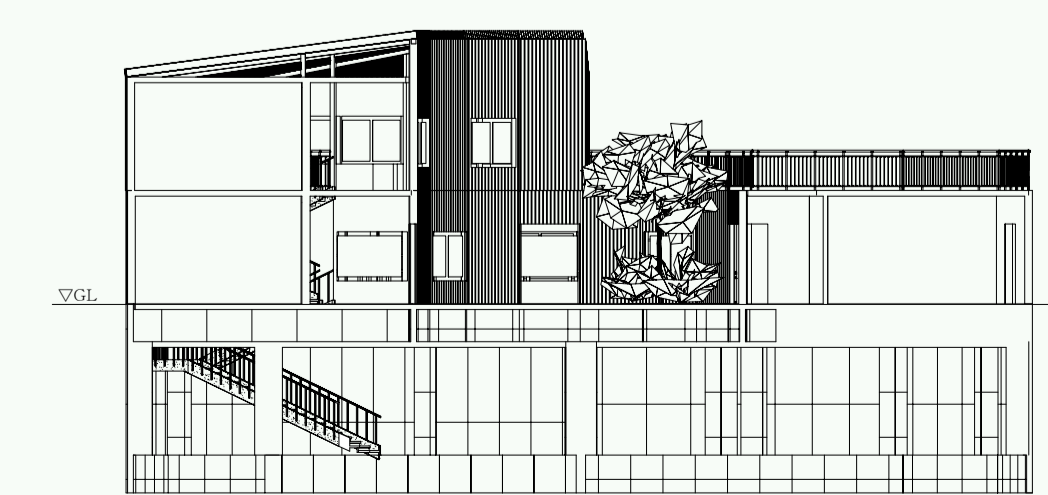
地上1階部分は工房と図書スペースとなっている。また、正面から南東方向に坂を登ると、1階部分に直接出入り可能なドアが設置されている。建物の北東側にあるドアからは、木のおもちゃ館へと向かうことができる。

地上2階部分は講義室と作品展示のためのギャラリーがある。また、屋上デッキがある。

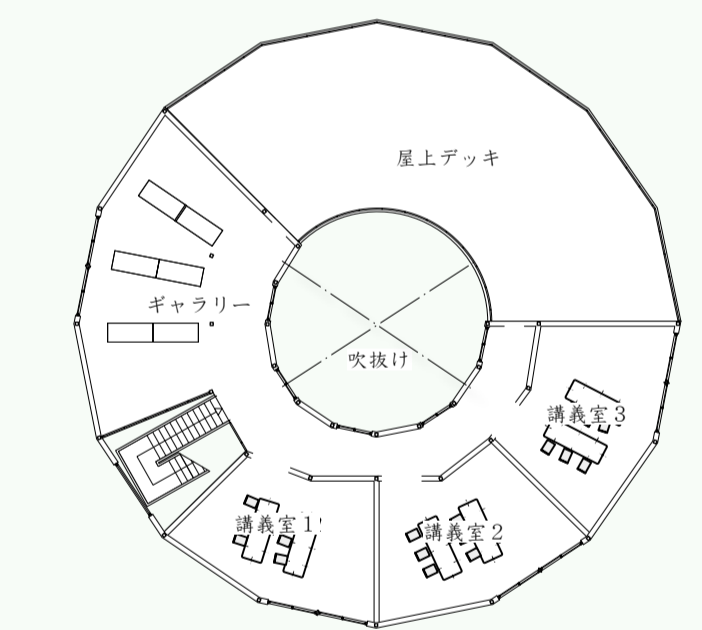
ランダムに設置しているファサードは、木を組み合わせて木が連なる様子を表した。



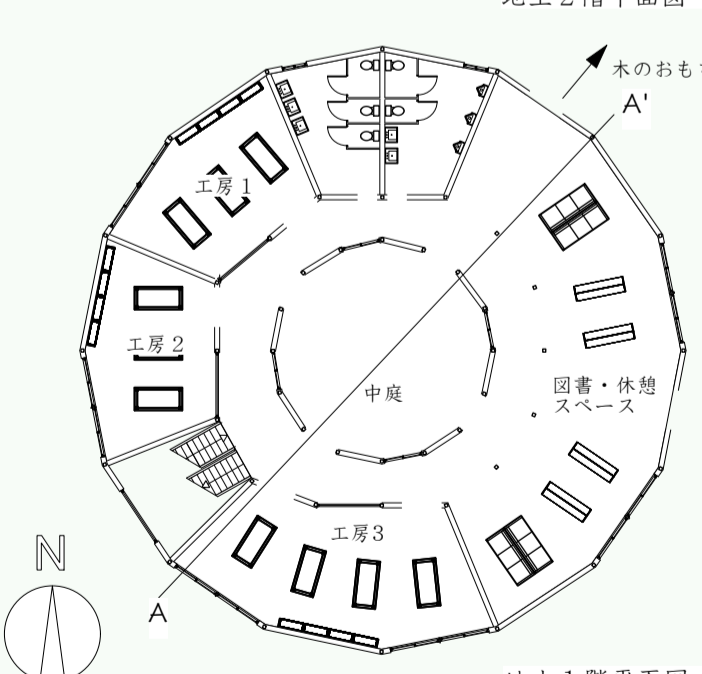
東側立面図 1:200



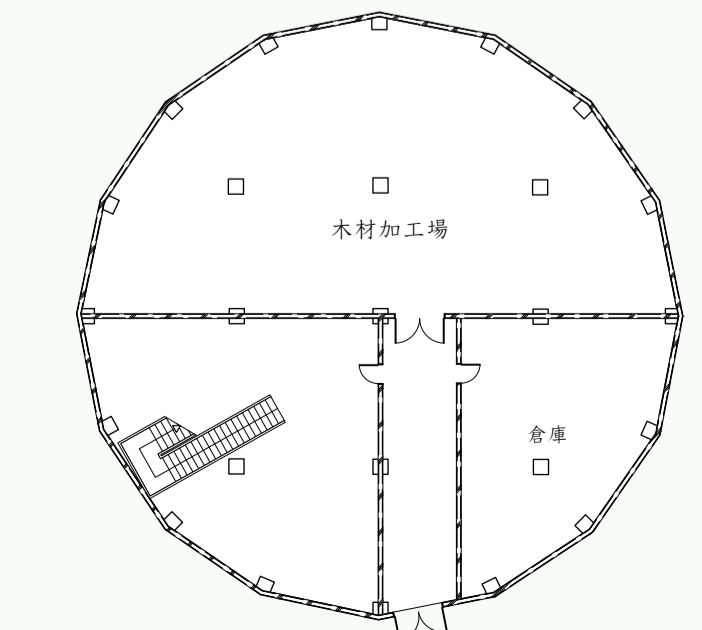
AA'北西方向断面図 1:200



地上2階平面図 1:300



地上1階平面図 1:300



地下1階平面図 1:300